

豊田民報

日本共産党豊田市委員会
◆豊田市日之出町一・六・六
Tel: 三四・四七二二
毎週一回発行

日本共産党 根本みはる市議の一般質問

救急医療・在宅医療・ 交通空白地域の対策

13日、日本共産党の根本みはる市議は6月市議会の一般質問に立ちました。その一部を紹介します。

住み慣れた地域で、安心して暮らして行ける社会は、だれもが望んでいます。高岡・上郷の南部地域に病院を、と地域住民の皆さんによる署名が取り組まれてきました。7800を超える署名が寄せられ、救急の受け入れができる病院が必要と、切実な声がこの時にも多く出されていきました。現在、南部1次救急診療所の整備が進んでいます。夜間の診療体制は現在のところ取られておらず、新しい民間病院が開院した後も、第2次救急医療体制の拡充を望む声は広がっている状況です。



6月
議会

南部から市外の病院へ 救急搬送 1057件

	総数(件)	市内(件)	市外(件)
北消防署	3,360	3,283	77
中消防署	7,244	7,051	193
南消防署	5,586	4,529	1,057
足助消防署	892	849	43

(平成30年度)

救急医療は今、どうなっているのでしょうか。各消防署から病院に搬送された年間件数では、(表参照)南消防署から市外に搬送した件数は、他との比較で突出しています。市民のみならず、人が取り組んだアンケートの結果をみても、市外の病院の病院利用が多い状況でした。市は、2次、3次救急医療体制は整えられていると、これまでと変わらない認識ですが、南部地域に救急医療体制がないことは、数字の上でも明らかです。

住みつづけるために 交通空白地域の対策を

地域で住みつづけられるために、買い物、通院のための生活交通が欠かせません。市では、公共交通は社会資本としての公益性の評価を重視してまいりました。市民意識調査でも、依然として、公共交通が不便という意見は多く、高齢化により、ますます交通空白地域への対策が必要になっていきます。

いわゆるおいでんバスなどのコミュニティバスに、市がどれだけ負担しているのでしょうか。市民1人あたりの公費負担額は、刈谷市で1992円、豊田市1909円、安城市1470円、知立市1254円でした。さらに、交通空白地域への対策が必要です。

免許証返納人数は1011人、1.5% 運転免許証自主返納支援制度を

高齢者による交通死亡事故が、毎日のように報道されています。

豊田市の平成30年度の運転免許証返納者は、1011人、

運転免許証所有者数に占める割合は1.5%と少ない状況です。

「運転免許証自主返納支援制度」が、愛知県のホームページでも紹介されています。市町村でも、23自治体から31自治体にひろがっている制度です。

こういった補助制度をつくって高齢者の交通死亡事故をなくすような検討はされているのでしょうか。

「現在、企業の協力で、高齢者交通安全サポート制度という優待サービスが行われていることから、運転免許証自主返納支援制度は考えていない」という市に対し、返納支援制度は市民の願いであることを訴えました。

豊田市子ども条例と子どもの相談 教育環境を考える会が講演会

豊田市の教育環境を考える会が8日、総会と教育講演会を開きました。

講演会の講師は、弁護士の間宮静香さん。愛知県弁護士会子どもの権利委員会の副委員長や、豊田市子どもの権利擁護委員を務めています。

間宮さんは、2007年に施行された豊田市子ども条例を、愛知県で初めての子ども条例、子どもたちと共に作った条例と紹介。です、まず調で読みやすく、「夢に向かって挑戦し、失敗しても再度挑戦すること」も権利として保障



されています、と好きな点を挙げました。

この条例によって設置されている、豊田市子どもの権利擁護委員と子どもの権利相談室。昨年度は延べ相談件数が769件ありました。間宮さんは、いくつかの事例を紹介しつつ、相談は子どもが権利の主体であり、子どもの気持ちを中心に対応していると説明しました。

質疑応答や、同会の活動報告や役員紹介も行われました。根本みはる市会議員も参加しました。

県の地域保健医療計画を学習 地域医療と病院問題を考える会

地域医療と病院問題を考える会が9日、若林交流館で総会と学習会を行いました。

学習会の講師は、愛知県社会保障推進協議会の副議長・西村秀一さん。愛知県の地域保健医療計画を基に、西三河の北部医療圏について現状と課題を報告しました。

西三河の北部は、人口の割に病院の病床数が県平均より少ない地域。西村さんは「病院が少ない。増やして」と言っている地域です、と説明。病院が少ない大本には、病床数や医師が減れば医療費も下がる、と国が抑制している問題点を挙げました。



スケボーもできる新とよパーク完成

愛環の新豊田駅東側に、スケボーもできる「新とよパーク」ができました。5月25日(土)からオープン。

2年くらい前から周辺の方々に公募でワークショップを行い、市のにぎわい創出を目指して、自由に使える部分を増やしたそうです。

スケボーやボール遊びは、空いていれば自由にできますが、大人数やイベント使用の際は市役所の都市整備課へ占用承認申請が要ります。届け出をすればバーベキューもOK。

スケボーをするメンバーも新とよパークの運営に協力。音の出るスケボーや音楽演奏は夜9時40分まで、ごみは持ち帰る等、周りの迷惑にならないよう自主的にルールも決めています。6月2日(日)に前を通った時は、たくさんの若者がスケボーを楽しんでいました(下写真)。(本多のぶひろ)



参院選勝利で希望と安心の日本と愛知を

志位和夫 共産党 委員長 街頭大演説会

・6月15日(土)午後1時30分
・名古屋駅東口JPタワー前

<こそってご参加ください>

決意表明

参院議員(比例代表)

井上さとし

党県若者雇用対策部長

すやま初美

動報告や今後の運動方針について議論が行われました。根本みはる市会議員も市政報告を行いました。